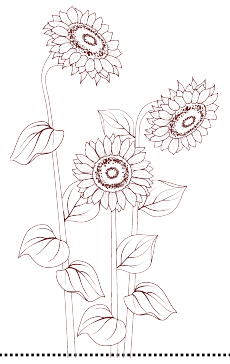
８月　園だより

ふたばランド保育園

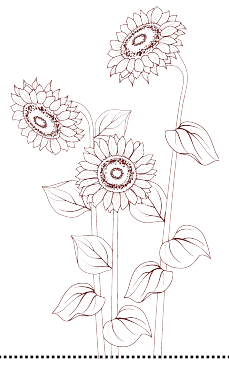
２０２４.８.１

牛久市中央5−5−２　tel.029-873-5528



真夏の太陽がカッと照りつけ
ひまわりが黄金の光を浴びて
輝く季節。
子どもたちが待っていた夏。
自然の中で、
たくさんの経験をして
たくましく成長することを
祈っております。

理事長　浅田（あさだ）　精利（きよとし）



今月の予定

教育支援課アドバイザーの先生方による読み聞かせ＜年中・長児＞

８／２（金）14：00～

教育支援課のアドバイザーである、宮本先生、綿引先生、中村先生（御三方は小中学校の校長や幼稚園長の経験者の方々です）が絵本や紙芝居の読み聞かせにいらっしゃいます。

希望保育

８／１３（火）～１５（木）

この３日間は申請されたご家庭のみの希望保育とさせていただいております。当日の持ち物をご確認ください。
＜当日の持ち物＞各自お弁当、水筒（お茶、白湯など）、午後３時のおやつ（０～３歳児の方は、午前１０時のおやつとしてのパック飲料もお願いします）

交通安全教室

８／２２（木）

今回から２～５歳児が参加します。「防犯」をテーマに映像や大型紙芝居等を通して、子どもたちに分かりやすく教えていただきます。

誕生会

８／２９（木）10：00～

８月生まれのお友だちのお祝いですよ！クラスで誕生日の子のお祝いをしていると聞きつけた他のクラスの子が「おめでとー！」と顔を出して伝えてくれています。祝ってもらう嬉しさは当然ですが、お祝いをする喜びが子どもたちに染み付いてきたのは喜ばしいことです。

※８月はカレーライスの日、おべんとうデーはありません。ご承知おきください。

お知らせ・お願い

★早朝・延長申請書、土曜日保育申請書

毎度のことで恐縮ですが、各種申請書は前月２０日までに提出をお願いいたします。
特に土曜日保育は、子どもの人数に対して何人の保育士を配置しなければならないか、ということを考慮する必要があります。土曜日に勤務されているご家庭は接客業や医療・福祉関係など生活になくてはならない職業であると理解しているつもりです。次の月に利用する可能性があるという場合は、申請書の提出をよろしくお願いいたします。

★キッズビュー「ご家庭より」について

先日、キッズビューのお知らせでも配信しました通り、「ご家庭より」の記入漏れのないようにご協力お願いいたします。

★年長児お泊り保育について

７月もお知らせしましたが、９月６日（金）～７日（土）の２日間でおこないます。詳細は後日手紙を配布いたします。年長児以外のお子さんは通常保育となります。ただ、年中児のお子さんは生活の流れが普段とは多少異なりますので、近くなりましたらクラスの掲示にてお知らせいたします。

★降園時間の駐車場の利用について

１７時以降からお迎えが集中し始め、特に１８時前くらいが一番混み合います。皆さんで駐車場の譲りあって利用していただくために、お迎え後は園に長い時間留まることのないようにご注意ください。

コロコロライブラリー　本紹介コーナー

子どもに人気の絵本を紹介します！

バナーナ！／藤本ともひこ

可愛らしい動物たちのイラストに出てくる文字は「バナーナ！」のみ。文字の大きさや動物の様子に合わせて読み方を変えるだけで、子どもたちは大喜び！是非ご家庭でも一緒に声を出して読んでみてくださいね。

バルバルさん／乾恵理子　西村敏雄

バルバルさんは町の床屋さんです。ある日、いつもとは違って動物のお客さんが来店。あれ？と思いながらも動物たちの要望を聞いて髪型を整えてあげていきます。次々現れる動物はどんな髪型になっていくのでしょうか。

実録 保育士でこ先生／でこぽん吾郎

これは子ども用ではなく大人がニヤニヤと読む用です。保育士の楽しさや面白さ、そして大変さがコミカルに描かれています。保育士あるあるを是非お楽しみください！

園長　梶原（かじわら）　秀一（ひでかず）

　ある日の給食後、室内で自由遊びをしているたいようぐみをふらっと覗きにいった日の出来事です。既に隣のだいちぐみはお昼寝中でしたが、たいようぐみの子どもたちは遊びが徐々に盛り上がっていき、そこそこの大きな声を出して遊んでいました。このままではだいちぐみの子が起きてしまうと思った私は、遊んでいる子どもたちに「だいちさん寝てるからもう少し静かにあそぼうね」と声を掛けました。ごく普通の声掛けとその時は思っていました。それをそばで聞いていた年中の女の子が私に向かって一言。『いい夢がみれなくなっちゃうよね』。それを聞いた私はすかさず「〇〇ちゃんがいいこと言ってるから聞いて！」と周りにいた子たちにその言葉をそのまま伝えました。

　その子としては何気なく発したこの言葉を、私は素直に「すごい！」と感心したのと同時に、頭をガツンと殴られたような衝撃も受けました。「起きちゃう＝いい夢がみられなくなる」、子どもらしい発想、尚且つ確かに…と合点もいきます。そして、私がごく普通と思ってしまっていた、「起きちゃうからもう少し静かにあそぼう」はある種の指示であり、その瞬間は静かにしてくれるでしょう。しかし、この言葉には子どもがだいちぐみの為に静かにしなきゃと自分の頭で考える余地はなかったのかもしれません。一方で『いい夢がみれなくなっちゃう』は子どもが想像を働かせることができ、だいちぐみが困るから気をつけようと静かに遊ぶことを自発的に選ぶかもしれません。どちらの言葉が子どもたちの主体性を引き出すかと考えると、きっと後者なのでしょう。

　そして、数年前のエピソードも一つ。ある日、年長の子が着替えをしていました。胸の中心に縦に入った手術跡があります。その子とは特に手術跡の話題になったわけでもないのですが、「これは頑張ったしるしってママが教えてくれたんだ」と教えてくれました。突然のことにちょっとドキっとしましたが、「そうか！頑張ったんだね！」と言うとその子は嬉しそうにそして照れくさそうに「うん！」と笑っていました。私の息子も胸に同じ跡があります。親としてどのくらい心配だったか、どのくらい辛かったか、どのくらい代わってあげたいと思ったか、想像に難くありません。一生残るであろう跡を、その子のママは「頑張ったしるし」と伝え、その子も納得している。親子で頑張った証です。なんて素敵だろうと感じた出来事でした。

　言霊という表現、そして言葉には力が宿るなど昔から人は言葉を大切にしてきました。言葉によって気持ちが上を向いたり、下を向いたり、平常を取り戻したり。一喜一憂することはしばしばです。２つのエピソードから自分の未熟さが身にしみますが、少しでも良い力を宿した言葉を届けられるように日々精進していきたいと思います。